

## 無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集 (①無06-13-3/5)

### 目 的

無形文化遺産保護に関わる国際的動向の情報収集を図り、アジアを中心とする海外の研究機関等との研究交流を実施し、国内外の無形文化遺産保護に貢献する。

### 成 果

韓国国立文化財研究所無形文化遺産研究室との交流事業において、平成23年度に調印した合意書に基づき、研究員の相互派遣を内容とする研究交流を実施した。また関係する国際会議・シンポジウム等へ参加し、海外研究者への助言や調査協力を通して、無形文化遺産分野における国際的情報収集及び情報提供を行った。

また韓国との交流事業では、平成23年度に調印した「無形文化遺産の保護に関する日韓研究交流合意書」に基づき、韓国国立文化財研究所から、同研究所無形文化遺産研究室の黄慶順学芸研究士を25年4月17日～29日の間、同室の李釵源研究士を5月21日～6月3日の間、無形文化遺産部に迎え、研究交流を実施した。日本側からは、6月16日～30日の間、今石みぎわ研究員を韓国に派遣し、韓国における無形文化財（工芸技術）の保護制度について調査研究を行った。

さらに4月から12月にかけて、“Field Survey of the Intangible Cultural Heritage Safeguarding Efforts in the Asia-Pacific Region（アジア太平洋地域における無形文化遺産保護の取り組みについてのフィールド調査）”を、韓国ユネスコカテゴリー2センターからの依頼により実施。その成果は12月に同センターから報告書として刊行された。

この他、アジア太平洋無形文化遺産研究センターからの要請で、10月23日に東ティモールの行政官一行の東京文化財研究所への視察を受け入れ、専門家向けの研修会を実施した。なお、アジア太平洋無形文化遺産研究センターとは、この研修会の実施にあわせ、今後の事業の進め方などについても話し合いの場を持った。

無形文化遺産分野の国際的情報収集では、以下の国際会議等に参加し、情報収集及び研究発表等を実施した。

#### 参加会議

- 2013（平成25）年4月11日～15日「東アジアの伝統的綱引き国際シンポジウム」大韓民国 唐津市
- 2013（平成25）年9月12日～16日「韓日国際管楽器フェスティバル」大韓民国 慶州市
- 2013（平成25）年11月20日～24日「第五回東亜細亜国際音楽考古学学会」大韓民国 釜山市
- 2013（平成25）年12月2日～7日「無形文化遺産保護条約第8回政府間委員会」アゼルバイジャン バクー

#### 発表

- ・高桑いづみ「現存する一節切一正倉院から17世紀初頭まで」韓日国際管楽器フェスティバル 13.9.14
- ・高桑いづみ「日本における出土鼓胴と古製の鼓胴について」第五回東亜細亜国際音楽考古学学会 13.11.23
- ・International Information and Networking Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region under the auspices of UNESCO, Department of Intangible Cultural Heritage, NRICPT, Intangible Cultural Heritage Safeguarding Efforts in Japan, Korea, 13.12

#### 研究組織

○石崎武志、高桑いづみ、飯島満、久保田裕道、菊池理予、今石みぎわ（以上、無形文化遺産部）、二神葉子（企画情報部）